

江南区自治協議会 令和2年度 第6回 環境・教育部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第6回環境・教育部会
- 日時：令和2年11月26日（木）午後3時～午後4時
- 場所：江南区役所 多目的ホール
- 出席委員：渡邊寿子委員、上村委員、横木委員、横田委員、中野委員 以上5名
（欠席：渡辺啓子委員、小形委員、間島委員、湯田委員、高橋委員 以上5名）
- 事務局：区民生活課長、産業振興課長、江南区教育支援センター所長、亀田地区公民館長、亀田図書館長、地域総務課主査、同課副主査
- 傍聴0名

【審議内容等】

1 アンケートについて

<事務局より説明>

- ・各中学校へ協力依頼を行い、すべての学校で快く引き受けていただいた。結果についても提供してほしいとのことであった。
- ・予定どおり区内公立中学校2年生を対象に2月上旬にWEBアンケートを実施する。
- ・委託事業者はこれから決定するが、まずはアンケートで何を聞きたいか検討したい。
参考：他都市の事例（白井市のアンケート）

<主な意見>

- ・生活環境、教育、公共交通、防災面などの項目ごとに細かく聞くイメージであった。抽象的な内容だと事業化するのが難しいのではないかと。せっかくお金をかけてアンケートを行うのであれば、細かく聞きたい。
- ・アンケートの内容は単純・簡単にして、その結果を事業化するのは私たちの仕事ではないか。
- ・白井市のアンケートを江南区に置き換える形でいいのではないかと。そこにほかに聞きたいことを付け加える感じでどうか。
- ・前回のこども会議を踏まえて、内容を検討してはどうか。
- ・前回のこども会議は小学生に自分たちのまちは好きか、どこが好きかといった子どもらしい内容だったので、切り離して考えてもよい。
- ・このアンケートは単年度で終わりではなく、継続して行った方がいい。3～5年に1回実施し、時代の変化などを把握してもいいのではないかと。
- ・良いところを伸ばしていくのか、悪いところを改善していくのか、どちらか決めるべきではないか。また、どんなジャンルを聞くか絞った方がいいのではないかと。

⇒次回までに何を聞きたいか、各自検討する。

2 令和3年度自治協提案事業について

- ・フロアカーリング体験交流会は、来年の状況を見て実施の判断をすべきではないか。
- ・オンライン会議でのイベントについては、引き続き検討する。